



*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。長田中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

どうして、9月1日は「防災の日」・・・！？

～避難訓練は全校生徒の安全を守るために必要不可欠なものです！～

昨日4日(水)6限に避難訓練を行いました。避難訓練は年3回を予定し、今回2回目の避難訓練は「防災週間」での実施となりました。「防災の日」「防災週間」について、お話しします。

「防災の日」は、1960年に制定されました。防災の日が制定された理由は、日本が自然災害の多い国であることと関係しています。日本では、地震や津波・高潮・台風・豪雨・洪水など、自然災害が少なくありません。そのため、災害に対する認識を深めることを目的に、防災の日が制定されたのです。

また、「防災の日」の目的には、自然災害に対する備えや対策を強化することも含まれています。防災対策に力を入れることが、災害の被害を未然に防止することや最小限を抑えることにつながるためです。

(参考:「防災の日」及び「防災週間」について:防災情報のページ-内閣府)

毎年9月1日が「防災の日」ですが、この日を含む1週間は「防災週間」とされています。防災週間は、防災の知識を高めたり普及させたりすることが目的です。従って、地方の公共団体やその他の関係団体と協力し合い、全国で防災に関する講演会や展示会などの実施が推奨されています。防災訓練や防災功労者の表彰などの行事も、実施するものとされているのです。全国各地では、楽しみながら防災意識を高められる数々のイベントも実施されており、話題になっている人気のイベントも少なくありません。

「防災の日」がなぜ9月1日になったのか、その理由を知っている生徒が数人いて感心しました。「防災の日」が9月1日に制定された理由は、1923年に大被害をもたらした『関東大震災』に由来しています。9月1日は、関東大震災が起きた日なのです。また、古くから伝わっている『二百十日』も、9月1日が選ばれた由来とされています。二百十日とは立春から数えて210日目の日を指し、現在の暦では9月1日前後です。この時期は、台風が襲来し、稲作などが大被害を受けやすい厄日とされていました。

防災の日が制定される決め手となった災害が、1959年の『伊勢湾台風』です。伊勢湾台風は、明治以降に襲来した台風の中で最も多い犠牲者を出した台風です。台風自体の規模は、観測史上最強で最大とされていた台風と比較すると、半分程度の勢力でした。勢力がそれほど強くないにもかかわらず想像を絶する犠牲者が出た要因は、高潮の発生と臨海の低平地エリアの堤防が崩壊したことと考えられています。これらの被害を受けたことが、不十分であった防災対策を見直すきっかけとなり、防災の日の制定にもつながったそうです。

生徒のみなさん、「防災の日」「防災週間」をきっかけに防災対策を今一度、見直してください。災害はいつ起こるか分かりません。そのため、万が一に備えて防災対策をしておくことが大切です。次のことについて、家族としっかり話をして確認しましょう。

1 ハザードマップをチェック

ハザードマップは、災害が発生したときに被害が想定される地域や避難場所などの防災情報を、地図上で確認できるものです。

2 避難場所と避難ルートの確認

居住している地域の避難場所が、どこだか知らないという人もいるのではないのでしょうか。各市町村では、災害が起きたときに住民が避難するための避難場所が決められています。



3 防災グッズの見直し

防災グッズは主に『衣』『食』『住』『情報』の4つに分かれており、それぞれを見直すことが大切です。

4 家庭で災害時の対応を話し合う

災害時に、家族と連絡が取れないのは不安なものです。事前に家族で連絡方法について話し合っておきましょう。



(避難訓練 講評より)